

名古屋市立大学看護学部同窓会 代議員会・総会ならびに懇親会開催報告

平成 29 年度名古屋市立大学看護学部同窓会総会を開催しましたので、簡単ですがここにご報告いたします。

日時 : 平成 29 年 11 月 18 日 (土) 11 時～14 時 30 分
場所 : 名古屋市立大学看護学部 視聴覚教室 (308 教室)
参加者 : 45 名

総会

会長挨拶

来賓挨拶 名古屋市立大学看護学部 学部長 堀田法子先生
名古屋市立大学病院 副病院長兼看護部長 平岡翠様

議事 : 1. 理事会報告
2. 庶務報告
3. 平成 28 年度決算報告
4. 平成 29 年度予算
5. 役員、代議員について
6. 平成 30 年度代議員会・総会ならびに懇親会の開催について

特別企画 : ～「卒業生の活躍」同窓生へのメッセージ～ 「今日は、いい日だ」
講師 : 名古屋市立大学病院 看護師 浅野春香さん (看護学部卒 6 期生)

日本看護協会は「看護の日」看護週間事業の一環として看護にまつわる心温まるエピソードを募集しており、今回浅野春香さんの忘れられない看護エピソードが入選されましたので、そのお話を発表して頂きました。内容は日本看護協会ホームページからここに再掲します。

懇親会 :

サクラサイドテラスにて開催

多数の参加者が近況を発表し交流を深めました。



平成 30 年度 代議員会・総会ならびに懇親会のご案内

日時 : 平成 30 年 11 月 17 日 (土) 11 時から

場所 : 名古屋市立大学 看護学部

上記担当理事



今日は、いい日だ

〈愛知県〉

浅野 あさの 春香 はるか 30歳

94歳のMさんという患者さんが入院してしまいました。その方は、医師から余命数週間と言われており、自宅へ帰るのは難しい状態でした。ある日、Mさんからナースコールがあり、部屋に行くと「もう死にたい！ 家に帰れないなら、首をつって死ぬわ！」と大声を上げていました。部屋には、3人のお子さまがみえ、皆さん、つらそうな表情をされていました。私はMさんの手を握り、思いを聞きました。

しばらく、お話を聞いた後、私はご家族に「皆さんで、Mさんの手と足を温かいお湯で洗いましょうか。きつと気持ちが良いですよ」と提案しました。それを聞いたご家族は「やりたーい！」と笑顔で腕まくりをされました。そこから、とても温かい穏やかな時

間が始まりました。次男さんは、ニコニコしながら、Mさんの足を丁寧に洗っています。「熱い？ 母さん、こんなにきれいで長い指をしていたんだね」と言いました。長女さんは、手を洗いながら、「本当にきれいな指」と。長男さんは「俺はいいよ」と少し照れた様子で眺めています。60代の息子さん、娘さんが、自分たちを産み、育ててくれた大切なお母さんの手と足を優しく見つめながら、感謝を込めて、丁寧に洗います。

すると、さっきまで肩間にしわを寄せ「死にたい」と大声を上げていたMさんの顔がだんだんと緩んでいきました。そしてMさんは、こう言ったのです。「今日は、いい日だ」

私が働く大病院では、病や死と

いった悲しい出来事は避けられませんが、でも、それらをただ「悲しいこと」と言い、やり過ぎずのではなく、どうしたら、患者さんやご家族が少しでも楽になれるのかを、考えて考えて考える。それが、私たち看護師の大切な仕事です。

Mさんが「死にたいと思った日」。それは、息子さん、娘さんの力で、「いい日」に変わりました。この時、私は看護師をしていて本当に良かったと思えました。私にとっても、忘れられない「いい日」になりました。



平成29年度
名古屋市立大学
看護学部同窓会総会



来賓 挨拶



議事



卒業生の活動報告



懇親会の様子

